

その他資料

①施設概要図

②現場状況図1、2

③インフラ検討図1、2、3

■ラディアン周辺における施設概要

【設計の背景】

「新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」(令和4年2月策定)をベースに、生涯学習センターラディアン周辺へ、行政機能を集約するとともに、町民にとって居心地の良い場所となる拠点づくりを目的に次の3つの基本設計を実施しました。それぞれの施設整備だけでなく、各施設の機能やあり方を検討し、連携性を高めるとともに一体的な機能向上を図ります。

【各施設の設計概要】

【1】役場庁舎建設の基本設計

災害対策拠点となる庁舎としての耐震性が不足しており、建設から46年が経過し老朽化が著しいため、二宮町役場庁舎の移転、建替えを実施します。

敷地の所在	二宮町二宮 1199-1
用途地域	第1種住居地域
防火地域	準防火地域
敷地面積	約10,000㎡
建ぺい率	60%
容積率	200%

北棟

施設用途	執務室、議場、会議室、防災倉庫ほか
施設の延べ面積	3,650㎡
主要構造	鉄筋コンクリート造、地上3階

南棟

施設用途	執務室、会議室、多目的室、教育支援室ほか
施設の延べ面積	924㎡程度
主要構造	軽量鉄骨造、地上2階

【2】生涯学習センターリニューアル(改修)の基本設計

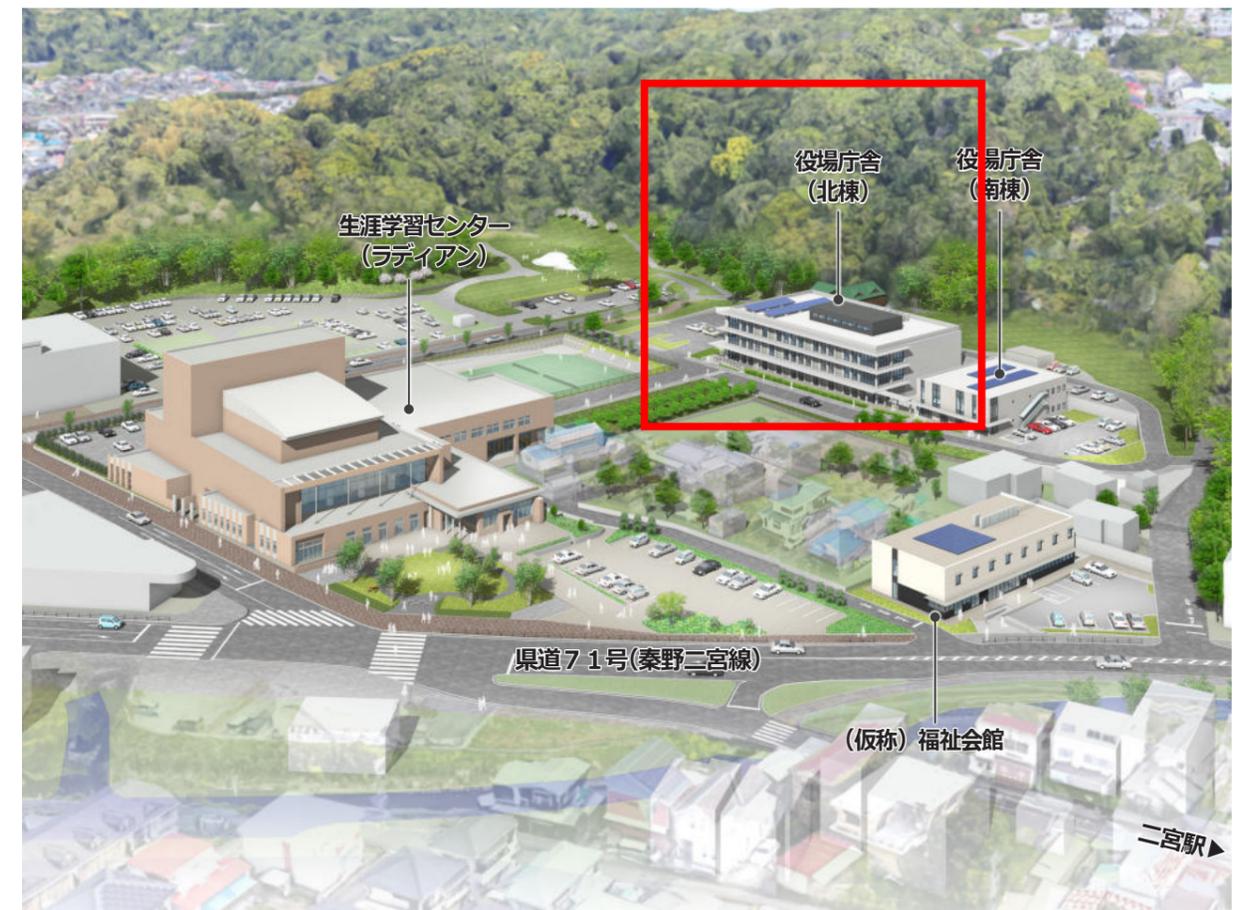
築24年が経過し、屋根や外壁の補修、空調機器の更新、天井の耐震化(特定天井対策)を計画する中、新庁舎建設とともに施設の連携性、滞在性を高め、交流が生まれる居心地の良い場所となるよう、リニューアル(改修)を行います。

施設の所在	二宮町二宮1240-10
用途地域	第1種住居地域
防火地域	準防火地域
敷地面積	9,545.11㎡
建ぺい率	60%
容積率	200%
施設用途	多目的ホール、会議室、展示ギャラリー、図書館
施設の延べ面積	5,284.57㎡(公民館棟3,395.43㎡、図書館棟1,889.14㎡)
しゅん工年	平成12(2000)年7月31日
主要構造	鉄骨・鉄筋コンクリート造、地上3階地下1階

【3】(仮称)福祉会館建設の基本設計

保健センターの一部機能移転や町民活動発展の拠点、社会福祉協議会と行政の福祉サービスをつなぐ連携の場とするため、旧ホテル跡地を活用した施設を建設します。

施設の所在	二宮町二宮 1208-1
用途地域	第1種住居地域
防火地域	準防火地域
敷地面積	約1,320㎡
建ぺい率	60%
容積率	200%
施設用途	会議室、調理室、相談室、ラウンジ
施設の延べ面積	915㎡
主要構造	軽量鉄骨造、地上2階



ラディアン周辺は、二宮駅から約700mの徒歩圏内で、町内の各方面からバスを利用して訪れることができます。主要地方道県道71号(秦野二宮線)に接しており、自転車や自動車によるアクセス性も高く、両側歩道付きの平坦な道路であることから、高齢者や子ども連れの歩行者の利便性や安全性も確保されています。また、県道が緊急輸送道路でもあることから災害時の応援や物資受け入れについても対応しやすい立地であり、公共施設が集約されることで災害時等においても連携性が高い場所になります。

新庁舎北棟整備工事 施設概要図

■ 現地調査報告書



① 敷地に近接する道路。
コミュニティバスの動線。



② 敷地境界付近の北側遊歩道。
敷地との高低差があるため、
外構計画に注意が必要。



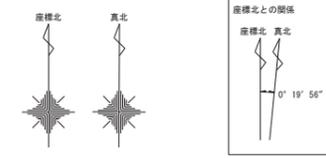
③ ラディアンモールから新役
場庁舎へのメイン動線を想
定。
ラディアンから役場に向か
い高くなる計画。



④ 西側通路幅員 4m 程度。
南側から北側に向かって傾
斜がつき、やや下がる外構。



⑤ 西側通路幅員 4m 程度
北側から南側に向かって傾
斜がつき、やや上がる外構。



⑥ 東側通路。
管理小屋への動線。
南側に向かって傾斜がつき、
やや上がる外構。



⑦ 東西の敷地境界線が 3 m 程
度の高低差があり、擁壁等
の設置が必要。



⑧ 南側の外構通路。
曲線はできる限り残す想定。

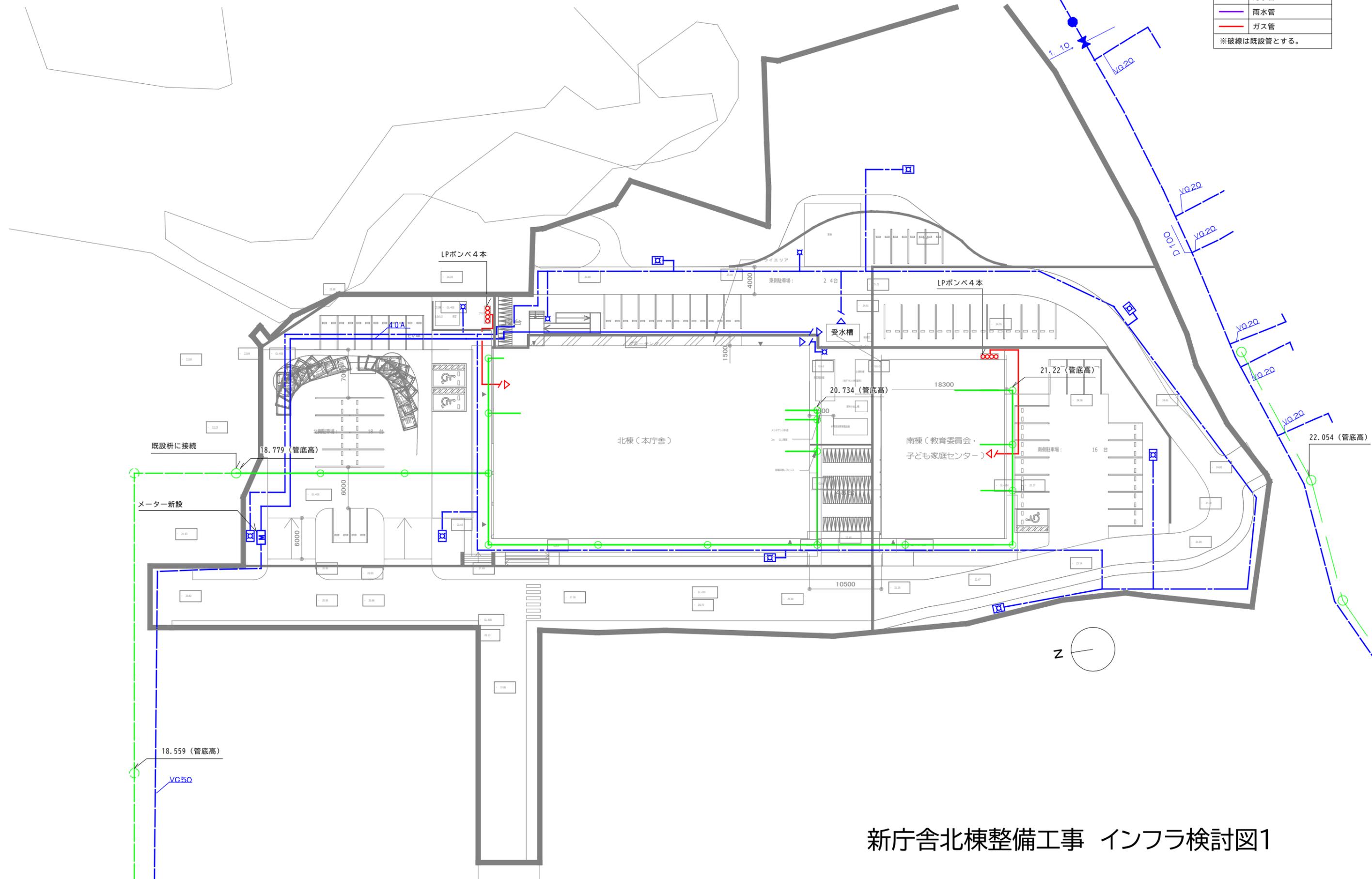


⑨ 敷地内歩行者入口。
車両出入りをしない計画と
する想定。

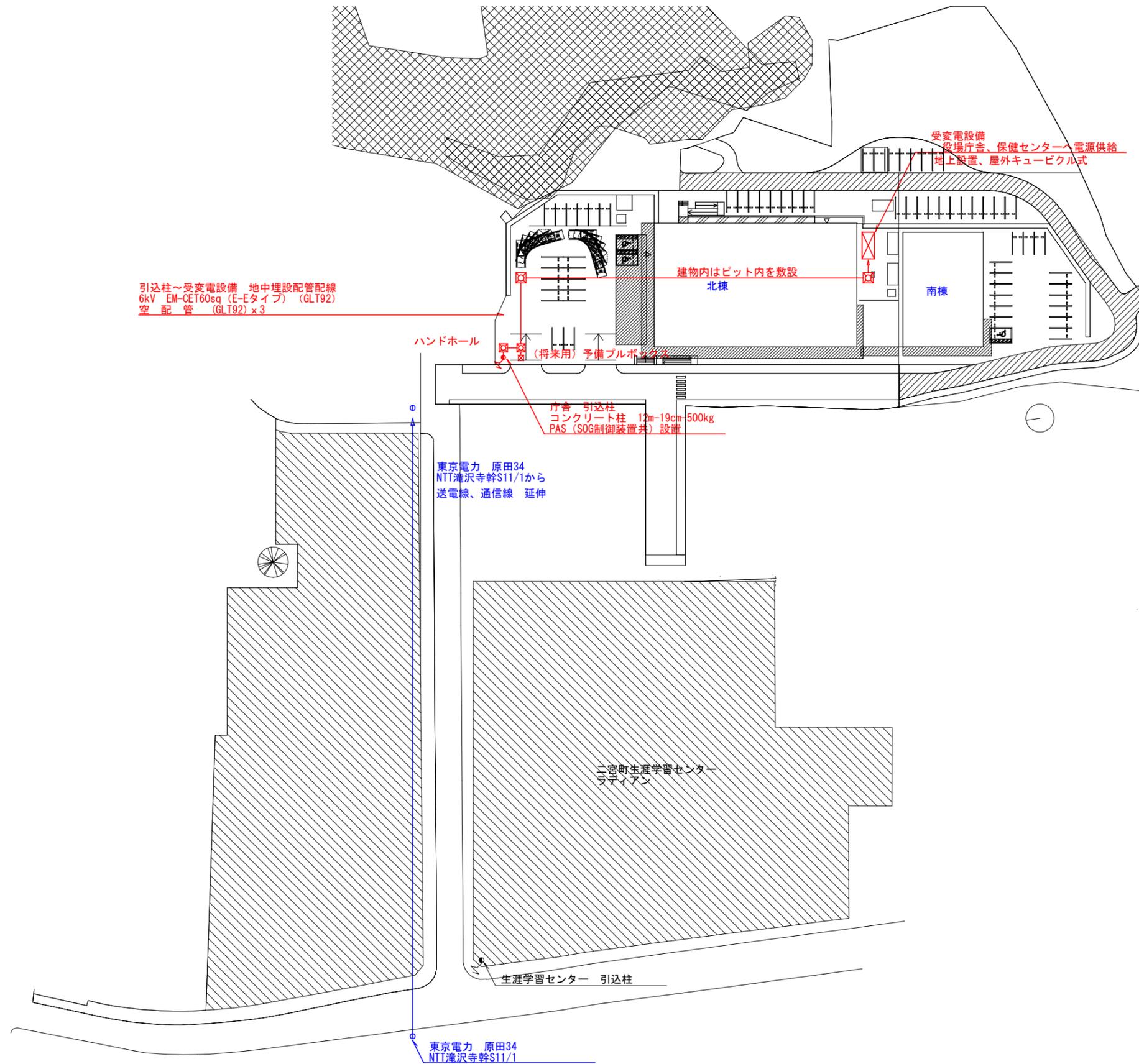
凡例

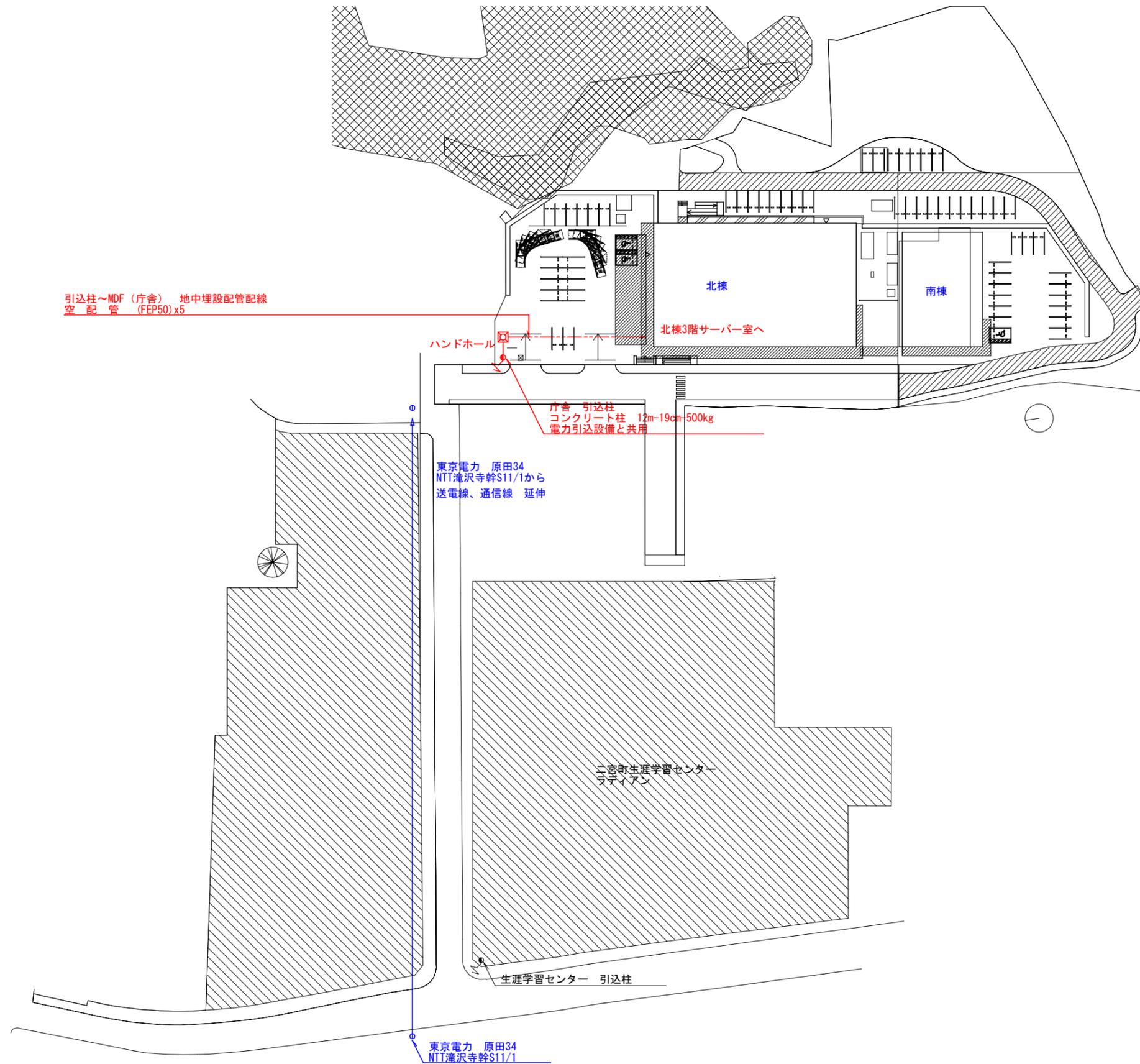
記号	名称
	水道管
	給水管 (受水槽2次側)
	汚水管
	雨水管
	ガス管

※破線は既設管とする。



新庁舎北棟整備工事 インフラ検討図1





新庁舎北棟整備工事 インフラ検討図3